LifeSize Control™

LifeSize Control™
インストールガイド

Apply License Key Label Here

LifeSize™

2005 年 **8** 月
部品番号 **132-00001-002**、バージョン **1.1**

著作権情報

Copyright 2005 LifeSize Communications. All rights reserved.
LifeSize Communications は、本書に含まれている情報が正確で信頼性があることを保証するため、あらゆる努力をしておりますが、エラーや情報の欠損に関する責任は負いません。本書の情報は、予告なく変更される場合があります。例で使用される企業、名前、データは、特記のない限り、架空のものです。
本書には、米国の著作権法および国際条約条項で保護されている著作権保護された独自の情報が含まれています。本書は、電子的、機械的、その他いかなる形態や手段、目的においても、LifeSize Communications からの書面による許可なく複製または転送することはできません。

商標について

LifeSize™、LifeSize のロゴ、LifeSize Control™ は、LifeSize Communications の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

サード パーティの通知

このソフトウェアは、Independent JPEG Group および FreeType Team の技術等を基にしています。

カスタマ サポートへの連絡

質問、懸案事項、サポートについては、製品の小売店または販売代理店までお問い合わせください。

お客様のご意見

LifeSize Communications では、製品やサービスに関するお客様のご意見を募集しております。この製品またはその他の LifeSize 製品に関するご意見は、feedback@lifesize.com まで電子メールにてお送りください。

LifeSize Communications の連絡先は、次のとおりです。

方法	*アドレス*
インターネット	http://www.lifesize.com
電子メール	support@lifesize.com
電話番号	(877) LIFESIZE または (877) 543-3749 (512) 347-9300
ファックス	(512) 347-9301

LifeSize Control へようこそ

LifeSize Control は、IP 環境でビデオやビデオ通信システムを管理するネットワーク管理者向けの最も包括的な集中管理ソフトウェアです。LifeSize Control 管理ソフトウェアは、グラフィックのブラウザベース システムを使用して、複数ベンダからのビデオ通信ネットワークを単一のコンソールで監視、スケジュール、管理、レポートします。

LifeSize Control には、次の機能が備わっています。

- リアルタイムのステータスおよびイベント通知付き、完全な標準ベースのビデオ デバイス管理機能
- Polycom および Tandberg からのデバイス サポート
- Microsoft Outlook と統合された会議スケジュール
- 収集したパフォーマンスデータのレポート生成
- アップグレードおよびメンテナンスの中央管理

システム要件

LifeSize Control をインストールして使用するには、次の要件を満たすシステムが必要です。

サーバのハードウェアおよびソフトウェア

LifeSize Control は、次の最小サーバ構成をサポートしています。

- Microsoft Windows Server 2003, Service Pack 1
- Microsoft .NET Framework 1.1 Service Pack 1 for Windows Server 2003
- 2.4GHz Pentium 4
- 1GB RAM
- 20GB のハード ディスク ドライバ

さらに、次のサービスがサーバにインストールされ、有効になっている必要があります。

- Active Directory

  注： LifeSize Control は、登録済みの LifeSize Control ユーザが Windows のログイン名とパスワードを使って LifeSize Control にログインできるように、Windows ベースの認証を提供しています。LifeSize Control は、認証の目的でのみユーザ アカウントにアクセスし、ユーザ アカウントの追加、削除、変更は行いません。Active Directory は、LifeSize Control をインストールするサーバにあっても、異なるサーバにあっても構いません。

- アプリケーション サーバ コンソール
- ASP.NET
- ネットワーク COM+ アクセスを有効にする
- ネットワーク DTC アクセスを有効にする
- Internet Information Server (IIS)

これらのサービスのインストールおよび構成については、第 8 ページの「Windows コンポーネントのインストール」を参照してください。

クライアント サポート

次の要件を満たすクライアント ブラウザからモジュールにアクセスできます。

- Web ブラウザ（Internet Explorer v6.x または Apple Safari v1.2）
- 256MB のメモリ
- 最新の Macromedia Flash Player ソフトウェア

  注： LifeSize Control を他の言語で実行するには、その言語の Microsoft 言語パックをインストールしなければならない場合があります。

ビデオ通信デバイス

LifeSize Control は、次のベンダー特有のデバイスをサポートしています。

ベンダー	ファームウェアのバージョン
Polycom	VV 5.x、VS MP/H323/512 7.5.2、VS FX/EX 6.0.1、V500 7.0.1、VSX 3000/7000 7.0.1
Tandberg	550 B9、E4、770 B9、E4、880 B9、E4、990 B9、E4、1000 B9、E4、2500 B9、E4、6000 B9、E4

ポート

LifeSize Control は、Microsoft の .NET フレームワークを基にしており、IIS から LifeSize 通信サーバへの通信にポート 8085 を使用します。

ユーザー インターフェイスは、Windows 2003 プラットフォームのポート 80、または SSL オプションが使用されている場合はポート 443 でホストされます。動的アップデートは、Web サーバーのポート 4296 を介して提供されます。

LifeSize Control は、次の表に示す標準の API を介して、ビデオ通信デバイスの管理をサポートします。デバイスとの通信は、FTP、SNMP、HTTP に提供されるデフォルト ポートを介して行われます。

プロトコル	ポート
Telnet	Tandberg デバイスではポート 23 Polycom デバイスではポート 24
SSH	ポート 22
SNMP v1、v3	受信通信ではポート 161 デバイス -LifeSize Control 通信ではポート 162 トラップ フォーワーディングが有効な場合は、送信通信でポート 162
SFTP	ポート 115
HTTP	ポート 80
HTTPS	ポート 443

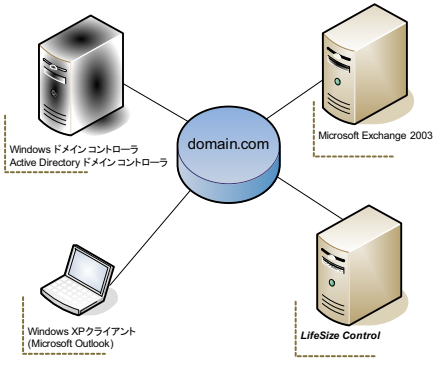
ストレージ

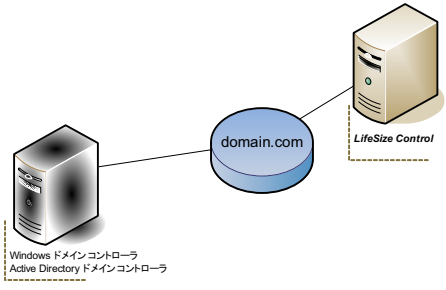
LifeSize Control データは、LifeSize Control と同じサーバーでホストされる Microsoft Desktop Engine (MSDE) に保管されます。データベース インスタンスは、信頼できる Windows 認証を使用して作成されます。接続メカニズムは、SQL データ プロバイダを使用します。

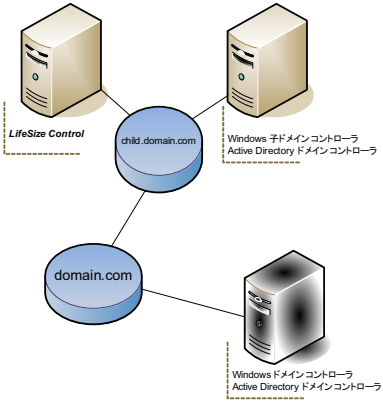
LifeSize Control は、LDAP ベースの H.350 準拠アドレス帳を使用します。組織単位（OU）は、デバイス情報を保管するために、Active Directory に作成されます。

サポートされている構成

次に、サポートおよびテスト済みの LifeSize Control 環境の例を示します。




domain.com
LifeSize Control
Windows ドメイン コントローラ
Active Directory ドメイン コントローラ


LifeSize Control
child.domain.com
Windows 子ドメイン コントローラ
Active Directory ドメイン コントローラ
domain.com
Windows ドメイン コントローラ
Active Directory ドメイン コントローラ

LifeSize Control のアップグレード

LifeSize Control の前のバージョンからアップグレードするには、www.lifesize.com のカスタマ サポート ページに記載されているアップグレード方法に従ってください。

LifeSize Control のインストール

LifeSize Control をインストールするには、次の手順に従います。

- Windows 2003 ServerのWindowsコンポーネントをインストールします。
- LifeSize Control のインストールと構成
- Active Directory への LDAP コンポーネントのインストール

  注： LDAP コンポーネントをインストールするには、管理者権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。LDAP コンポーネントをインストールするのに十分な権限があるかどうかを確認するには、IT 管理者にお問い合わせください。

Windows コンポーネントのインストール

LifeSize Control をインストールする前に、サーバーに次の Windows コンポーネントをインストールする必要があります。

- アプリケーション サーバ コンソール
- ASP.NET
- ネットワーク COM+ アクセスを有効にする
- ネットワーク DTC アクセスを有効にする
- Internet Information Server (IIS)

Windows コンポーネントをインストールするには、次の手順に従います。

1. Windows の **[** コントロール パネル **]** から **[** プログラムの追加と削除 **]** を選択し、左側のパネルで **[Windows** コンポーネントの追加と削除 **]** をクリックします。
2. **[Windows** コンポーネント ウィザード **]** から **[** アプリケーション サーバー **]** を選択し、**[** 詳細 **]** をクリックします。
3. 次の必要なサブコンポーネントを有効にします。
   - アプリケーション サーバー コンソール – Web アプリケーションの管理に単一の場所を提供します。
   - **ASP.NET** – 実稼動サーバーに ASP.NET Web アプリケーションを導入するのに必要です。LifeSize Control は、ASP.NET Web アプリケーションです。
   - ネットワーク **COM+** アクセスの有効化 – COM（コンポーネント オブジェクト モデル）統合サービスと機能を構築します。ほとんどの LifeSize Control コンポーネントは、サービス コンポーネントです。
   - ネットワーク **DTC** アクセスの有効化 – COM+ トランザクションを調整します。LifeSize Control コンポーネントは、リモート コールに DTC を使用します。
   - **Internet Information Server (IIS)** – .NET と既存の Web アプリケーションおよびサーバー用のインフラストラクチャを提供します。LifeSize Control を実行するには、デフォルトで有効になるサブコンポーネントの **[** インターネット インフォメーション サービス マネージャ **]** と **[WWW (World Wide Web)** サービス **]** が必要です。
4. **[** 次へ **]** をクリックして、インストールを完了します。

LifeSize Control のインストール

LifeSize Control をインストールするには、次の手順に従います。

1. **setup.exe** をダブルクリックして、LifeSize 配布メディアに含まれている InstallShield プログラムを実行します。

   注： まだ実行していない場合は、インストーラにより、Microsoft .NET Framework 1.1 Service Pack 1 for Windows Server 2003 が自動的にダウンロードされます。

2. **[** ようこそ **]** 画面で、**[** 次へ **]** をクリックします。
3. 使用許諾を表示する言語を選択してください。
4. 使用許諾の条項を受け入れ、**[** 次へ **]** をクリックします。
5. **[** カスタマ情報 **]** 画面に情報を入力し、**[** 次へ **]** をクリックします。

   LifeSize Control を自分専用にインストールするか、サーバーの全ユーザー用にインストールするかを指定できます。

6. **[** 標準 **]** を選択して、デフォルトの場所に LifeSize Control をインストールします。または、**[** カスタム **]** を選択し、現在のインストール先を変更して、LifeSize Control をインストールするディレクトリを指定します。
7. **[** 次へ **]**、さらに **[** インストール **]** をクリックして、インストールを開始します。

インストールが完了したら、[LifeSize Control の構成] 画面が表示されます。アラートと Microsoft Exchange Server 機能のパラメータを指定する必要があります。

LifeSize Control の構成

LifeSize Control のインストールが完了したら、[LifeSize Control の構成] 画面が表示されます。LifeSize Control を構成するには、次の手順に従います。

1. 次のフィールドに値を入力します。

- **SMTP** サーバー – 組織で使用している SMTP サーバーの完全修飾ドメイン名を入力します。
- 電子メール **ID** – アラートを送信する電子メール アドレスを入力します。
- 送信者の電子メール アドレス – アドレスアラート メッセージの「送信者」のアドレスとして表示される電子メール アドレスを入力します。
- **Exchange Server** の **IP** アドレスを指定しますか **?** – このオプションで [はい] を選択すると、Microsoft Exchange Server コンピュータの IP アドレスを入力するように要求されます。
- **HTTPS** を使用しますか **?** – LifeSize Control サーバーと Web クライアント間の通信に、SSL を使用するか HTTP を使用するかを指定します。
- **LifeSize Control** をデフォルトの **Web** サイトにしますか **?**- このオプションで [はい] を選択すると、サーバーのホスト名が LifeSize Control URL のエイリアスになり、ユーザーがブラウザでホスト名を入力するだけで、LifeSize Control にアクセスできるようになります。たとえば、次のように入力します。

  `http://< ホスト名 >`

2. **[** 次へ **]** をクリックします。

   サーバーの実行を設定するのに必要なバッチ ファイル。

3. **[LifeSize Control** サーバーの場所構成 **]** 画面が表示され、次のフィールドの値を選択します。

   - **[** 国 **]** ドロップダウン メニューから、LifeSize Control サーバーが設置されている国を選択します。
   - **[** 都道府県 **]** ドロップダウン メニューから、LifeSize Control サーバーが設置されている都道府県を選択します。
   - **[** サーバーの **IP** アドレス **]** ドロップダウン メニューから、LifeSize Control サーバーの IP アドレスを選択します。

4. **[** 構成 **]** をクリックしてから、**[OK]** をクリックします。
5. **[LifeSize Control** - スキーマの追加 **]** 画面が表示され、次のフィールドの値を選択します。[インストール] を選択して、LDAP 拡張をインストールします。
   - **[** ユーザー名 **]** と **[** パスワード **]** を入力します。ルート ドメインのスキーマ管理者にあるアカウントを使ってログインしてください。スキーマをロードし、構成します。
   - **[** ユーザー名 **]** と **[** パスワード **]** を入力します。ルート ドメインのスキーマ管理者にあるアカウントを使ってログインしてください。

   スキーマをロードし、構成します。
6. **[** 構成 **]** をクリックして、スキーマと構成がロードされるのを待ってから、**[OK]** をクリックします。
7. **[LifeSize Control - LDAP** 構成] 画面が表示されたら、**[** エンドポイントのドメイン コントローラ **]** タブで次の値を入力します。
   - デフォルト設定を使うには **[** はい **]** をクリックし、**<** ドメイン サーバー **>** に作成します。
   - **[** ユーザー名 **]** と **[** パスワード **]** を指定します。指定したユーザーは、ドメイン管理者グループに所属している必要があります。

   注： LifeSize Control サーバーが子ドメインでインストールされている親 / 子ドメイン構成では、子ドメインのユーザー権限を持つアカウントを使用して、LDAP を実行します。同様に、LifeSize Control サーバーが親ドメインでインストールされている場合は、親ドメインのユーザー権限を持つアカウントを使用して、LDAP を実行します。
8. **[** 構成 **]** をクリックし、アプリケーションが構成ファイルをアップデートするまで待ちます。次に、**[OK]** をクリックします。

アプリケーションにより、Active Directory のドメイン コントローラに、*EndPoints* と呼ばれる新しい組織単位が作成されます。*EndPoints* は、LifeSize Control をアンインストールして必要がなくなった場合に、ユーザー / コンピュータ管理 MMC を使用して削除できる自己含有の組織単位です。Active Directory に書き込まれるすべての操作は、この組織単位を通して行われ、Active Directory への書き込み操作許可が必要なくなります。

9. **[** ユーザーのドメイン コントローラ **]** タブで、次の値を入力します。
   - **[** はい、**<** ドメイン サーバー **>]** のデフォルト設定を維持します。
   - **[** ユーザー名 **]** と **[** パスワード **]** を指定します。既存のドメイン ユーザーを指定する必要があります。Active Directory は、読み取り専用モードで使用され、ユーザー管理用の標準の Windows コンテナを使って、ユーザーを認証します。新しいアカウントは作成されず、既存のアカウントへの変更も行われません。

   注： 指定したユーザー名は、このユーザーでパスワードの有効期限が切れないように設定してください。

10. **[** 構成 **]** をクリックし、**[** ドメイン コントローラ **]** ウィンドウを閉じ、アプリケーションが構成ファイルをアップデートするまで待ちます。次に、**[OK]** をクリックします。
11. **[Readme** ファイルを表示する **]** チェックボックスを選択または選択を解除してから、**[** 終了 **]** をクリックします。

サーバーが自動的に起動されます。多少の遅延が発生する場合があります。

環境のセットアップ

LifeSize Control をインストールしたら、環境を設定します。

- サーバーで LifeSize Control を起動します。
- ブラウザから LifeSize Control にアクセスします。
- デバイスのパスワードを識別します。
- ネットワークでデバイスを検出します。

これらの手順を実行したら、デバイス リストが表示され、システムの管理を開始できるようになります。

サーバーの起動と停止

サーバーを起動または停止するには、次の手順に従います。

1. Windows の **[** コントロール パネル **]** から、**[** 管理ツール **]** を選択し、**[** サービス **]** をダブルクリックします。
2. LifeSize Control を見つけ、サーバーを起動または停止します。

LifeSize Control へのアクセス

サーバーで LifeSize Control をインストールして起動したら、ブラウザからモジュールにアクセスできます。

最初にログインするには、次の手順に従います。

1. 次のような URL を入力して、モジュールにアクセスします。

   `http://<` **ホスト名** `>`

   [LifeSize Control のログイン **]** 画面が表示されます。

   注： LifeSize Control がサーバーのデフォルト Web サイトとして構成されていない場合は、LifeSize Control の完全なパスを入力してください。たとえば、次のように入力します。

   `http://<` **ホスト名** `>/lifesizecontrol`

2. **[** ユーザー名 **]** と **[** パスワード **]** を入力します。（ユーザーは、管理者権限を持つ必要があります。パスワードでは大文字と小文字は区別されます。）
3. **Enter** キーを押すか、**[** ログイン **]** ボタンをクリックします。

管理者権限を持つユーザーとしてログインしたら、他のユーザーを設定できます。詳しくは、オンライン ヘルプを参照してください。

ライセンス キーの取得

LifeSize Control を有効にするには、ライセンス キーを取得する必要があります。

LifeSize Control をインターネットで自動的に有効にするには、次の手順に従います。

1. ナビゲーション バーの **[** 管理 **]** メニューから、**[** ライセンス マネージャ **]** を選択します。
2. **[** ライセンス キー **]** タブを選択します。
3. LifeSize Control CD とインストール ガイドに記載されているライセンス キーを入力します。
4. **[** 保存 **]** をクリックします。

   LifeSize Control が自動的にライセンス キー サーバーと通信して、ソフトウェアのロックを解除します。

インターネット アクセスを使わずに LifeSize Control を手動で有効にするには、次の手順に従います。

1. ライセンス キーのロックを解除するリクエストを電子メールで support@lifesize.com に送信します。次の情報を含めます。
   - お名前
   - 発注番号
   - MAC アドレス
   - ライセンス キー

- チャネルまたはリセラー（該当する場合）

2. ナビゲーション バーの **[** 管理 **]** メニューから、**[** ライセンス マネージャ **]** を選択します。
3. **[** キーのロック解除 **]** タブを選択します。
4. LifeSize Control CD とインストール ガイドに記載されているライセンス キーを入力します。
5. LifeSize Communications から電子メールで提供されるロック解除キーを入力します。
6. **[** 保存 **]** をクリックします。

   入力したキー情報を使って、ソフトウェアのロックが解除されます。

ライセンス情報を表示するには、**[** ライセンスの詳細 **]** タブをクリックします。

デバイス パスワードの管理

デバイスを検出する前に、環境の各デバイスでユーザー名とパスワードを指定する必要があります。パスワードの追加について詳しくは、オンライン ヘルプを参照してください。

デバイスの検出

ネットワークでオーディオおよびビデオ通信デバイスを検出したら、オンライン ヘルプの説明に従ってこれらのデバイスを管理できます。

バックアップの復元

バックアップを復元するには、コマンド ラインから次の手順を実行します。

1. **<** *インストール ディレクトリ* **>\LscUtils\DBRestore** ディレクトリに移動します。

2. **DBRestore.exe** を実行します。

   `DBRestore.exe` *ファイル パス*

   このコマンドで、*filePath* は、データベースの復元に使用するファイルの絶対パスです。